

市町村名	伊是名村							
令和４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	定住促進住宅整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-イ			
担当部課名	建設環境課	事業実施 （予定）年度	平成30～令和8年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	安全・安心な生活を支えるインフラの整備		
事業内容	Uターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度（繰越）	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	101,000	126,000	16,000	87,000	0	
		(b) 予算現額	61,850	126,000	16,000	84,000	0	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 39,150	0	0	▲ 3,000	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	74,323	
		A. 計 (b+d)	61,850	126,000	16,000	84,000	74,323	
	B. 執行済額		59,739	126,000	11,990	7,567	66,495	
	うち交付金充当額		46,475	100,800	9,592	6,053	53,196	
	次年度繰越額		0	0	0	74,323	0	
	執行率（％）(B/A)		96.6%	100.0%	74.9%	9.0%	89.5%	
予算の状況の説明		令和4年度繰越事業であったが、建築工事を早期発注、実施したことから予算の範囲内で執行出来た。						
活動目標 （指標） 及び達成状況			達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	実施設計(内花地区2号棟) 実施設計(勢理客地区1号棟) 管理業務(内花地区2号棟) 建築工事(内花地区2号棟)整備		目 標	(建築工事)	(外構工事の実施)	実施設計(2件) 建築工事(1件) 用地購入(1件)	(管理業務 建築工事)	
			実 績	建築工事完了 仲田2棟目、内花1棟目	R4年度繰越完了	実施設計(2件)完了 用地購入(1件)完了 R5年度へ繰越	完了	
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	R5年度内に建築工事(内花地区2号棟)が無事完成出来た。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R4成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 （ 年度）
	実施設計(内花地区2号棟) 実施設計(勢理客地区1号棟) 管理業務(内花地区2号棟) 建築工事(内花地区2号棟)整備		目 標	()	(建築工事)	(外構整備)	(建築工事)	()
			実 績		建築工事完了 仲田2棟目、内花1棟目	完了	完了	
	【R4 成果目標】 仲田区：1人 内花区：1人		目 標	()	(仲田区：2世帯)	(仲田区：1人)	(仲田区：1人 内花区：1人)	()
			実 績		仲田1号 (2人入居)	仲田1号 (1人入居)	仲田2号：2人入居 内花1号：3人入居	
	進捗状況説明	成果目標である(仲田区：1人、内花区：1人)の入居を設定したが、仲田区：2人、内花区：3人の入居が決定し目標を達成出来た。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・今後は、建築工事の早期発注し円滑な整備完了となるように、取り組んでいくことが必要。	・建築工事の早期発注に取り込む事で、事業実施期間中での不測な事情に対応でき、年度内完成が可能になる。
今後の取り組み方針		
・入居された方へ聞き取り調査を行い部屋の大きさや間取り等快適な暮らしが出来ているかを確認し、改善点等があれば時期設計に入居者の声を取り込んで行く。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>76,033</td><td>74,062</td><td>59,249</td><td>14,813</td><td>1,971</td></tr></table> 伊是名村 交付対象事業費 74, 062千円 委託料 9, 482千円 (有)大友設計 2, 420千円 (有)ヨシ企画設計 4, 257千円 (有)大友設計 2, 805千円 工事請負費 63, 690千円 (株)山口建設 63, 690千円 公有財産購入費 890千円 個人 890千円 定住促進住宅(内花地区) 建築実施設計業務(R4) 定住促進住宅(勢理客地区) 建築実施設計業務(R4) 定住促進住宅(内花地区) 2号棟建築工事監理業務(R4繰) 定住促進住宅(内花地区) 2号棟建築工事(R4繰) 定住促進住宅(勢理客地区)用地購入 【対象外経費：1, 971千円】					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	76,033	74,062	59,249	14,813	1,971
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
76,033	74,062	59,249	14,813	1,971										
資金 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模について不用額が9,938千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊是名村								
令和４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	4-②	農地の地力強化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-7			
担当部課名	農林水産課	事業実施 （予定）年度	令和4～令和8年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化			
事業内容	III-9-(2)								
事業内容	浚渫土砂から礫を取り除き、農地へ作土として供給することで地力強化を推進するとともに、資源循環による環境負荷の低減を図る。								
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（ R6 年度）								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）								
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度（繰越）		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額				29,889	0		
		(b) 予算現額				22,038	0		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	▲ 7,851	0		
		(d) 繰越額				0	22,038		
		A. 計 (b+d)	0	0	0	22,038	22,038		
	B. 執行済額					0	21,717		
	うち交付金充当額					0	17,373		
	次年度繰越額					22,038	0		
	執行率（％）(B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	98.5%		
予算の状況の説明		輸送費321千円が不用額となった。							
活動目標 （指標） 及び達成状況	R4活動目標（指標）		達成状況						
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	除礫備品の導入 ・バックホウ：1台 ・ホイールローダー：1台 ・除礫バケット：1台	目 標	（ ）	（ ）	（ 除礫備品 導入 ）	（ 除礫備品 導入 ）			
		実 績			R5年度へ繰越	導入完了			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）			
		実 績							
	達成 状況 説明	令和4年度に発注を行い、納品の関係で繰越したが令和5年7月で納品し完了した。							
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	R4成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 （6年度）
		除礫備品の導入の完了	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 除礫備品 導入 ）	（ ）	
			実 績				導入完了		
R5 供用開始（年間作土造成 1,170t）		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	年間作 土造成 1,170t		
		実 績							
進 捗 状 況 説明		令和5年7月末で除礫備品導入が完了し、その後除礫作業開始を行った。 令和5年度途中からの使用開始のため、令和6年度に成果目標の検証を行う。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	早期発注し年度内完了に取組む必要がある。	事前に納期までの期間を調査し早期発注を行うことで年度内完了が可能と考える。
今後の取り組み方針		
浚渫土砂の除礫作業を行い作土造成に取組む。 並びに農家への供給については、事前受付にて必要数量を把握し都度供給を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>21,717</td><td>21,717</td><td>17,373</td><td>4,344</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	21,717	21,717	17,373	4,344	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
21,717	21,717	17,373	4,344	0										
伊是名村 交付対象事業費 21, 717千円 備品購入費 21, 717千円 コマツカスタマー サポート(株) 21, 717千円 【除礫作業機】 ・バックホウ：1台 ・ホイールローダー：1台 ・除礫バケット：1台														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法は指名競争入札により実施しており妥当とであつたと考えられる。 ○予算規模については不用額が321千円であり、適切な規模であつたと考えられる。 ○費目・使途については事業目的に即し必要最小限なものであることから妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												